

岐阜県文化振興指針の概要

目指す将来像

- 文化振興を通して「心の豊かさを実感できる誇りあるふるさと岐阜」を実現
- 心の豊かさを実感させる文化の薫り高い生活の実現
- 伝統文化の保存・継承と県民文化の創造による県民の誇りの醸成

策定の背景

求められる社会環境の変化への対応

- 市町村合併と行財政改革の進展
- 指定管理者制度の導入
- 少子化に伴う人口減少
- 高齢者の総人口における比率増大 など

本県文化施策再点検の時期

- 「織部賞」、「円空大賞」を見直す方向の指摘（平成 17 年 政策総点検）
- 文化の担い手からの声

大交流時代の幕開け・国民体育大会開催に向けて文化振興の好機到来

- 「大交流時代の幕開け」（東海北陸自動車道全線開通・JR 高山線の全面復旧）
- 第 67 回国民体育大会（平成 24 年）の本県開催が内定見込み

岐阜県文化の現状

「飛山濃水」の特色ある文化

- 飛騨は「山と森に育まれた文化」、美濃は「川と水に育まれた文化」

気風

- 岐阜のイメージは「保守的」、「安定志向」

ものづくりと文化

- 和傘、提灯、うちわ、刃物、和紙、美濃焼、飛騨春慶塗、一位一刀彫などのものづくり（伝統工芸品）と結びついた文化

優れた建築文化

- 重要伝統的建造物群保存地区は県内に 5 地区あり、全国第 2 位

伝統芸能・文化財

- 地歌舞伎の保存会は 27（全国一）、県指定文化財件数も全国一

郷土に根ざした文化

- 特徴ある活動を行っている団体
劇団はぐるま、岐阜県交響楽団、岐阜県ハンガリー友好協会 など

社会環境の変化

少子化による人口減少

- 文化活動参加者の減少と将来的な担い手不足への懸念

高齢化の進展

- 増える高齢者層が参加した文化活動のあり方の検討

市町村合併、行財政改革の進展

- 合併による業務合理化や財政の硬直化が文化事業に及ぼす影響

県民の参加意識の動向

- 機会があれば活動したいという県民ニーズに応える取組みの検討

在住外国人の増加

- 互いの文化を尊重し、共に文化をつくっていく取組みの検討

障害者の文化活動への参加

- 障害者が文化活動に参加しやすい配慮ある環境づくりの検討

課題

県民が親しみやすい文化環境の整備

- 障害者や在住外国人への配慮

文化芸術に触れる機会づくりへの取組み

文化活動を支援する取組み

- 官民連携による文化活動への支援のあり方

文化施設の活用

- 県内文化ホールを始めとする文化施設の有効な活用方法の検討

伝統文化の保存・継承

- 日本有数の優れた伝統文化を守り、次世代に引き継ぐための取組み

人材育成

- 次代を担う人材育成のあり方

「織部賞」のあり方

- 県民に親しまれる存在にするための取組み

新しい岐阜県文化の創出

- 新しい文化創造のための取組み

心の豊かさを実感できる「誇りあるふるさと」岐阜を目指して

= 参加 =

ハードからソフトへ - 参加しやすい環境づくりを進めます -

親しみやすさにこだわり、参加できる環境づくりを進めます

県民が文化芸術に親しむためのきっかけづくりとして、安価で楽しめる鑑賞機会や体験機会を充実したりポピュラーな作品や演目を積極的に採用するほか、鑑賞環境のさらなる充実に努めます。

<例>

県有施設での無料または安価な料金での催しの実施

県民ふれあい会館での「ふれあいアトリウムライブ」のような無料鑑賞の機会や安価な料金での催しを全県的に拡大し、県民が文化芸術に触れる機会を充実します。

乳幼児を持つ方や障害を持つ方のための環境整備

乳幼児を持つ保護者や車いすの方のための専用駐車場の整備や、託児施設の設置を進めます。

外国人に配慮した環境整備

在住外国人や県外・海外からの外国人観光客が文化に関する情報を入手しやすいよう、印刷物やホームページで多言語での表示を積極的に導入します。

県民が主役の文化活動を応援します

文化活動を担っている人々への支援を推進するなど、県民が主体となって文化活動に参加できる仕組みを構築します。

<例>

「企業メセナ リエゾン・オフィス(仮称)」の設置

文化活動を支援する企業などの情報を集約し、文化団体のニーズに応じた効果的な支援を実現する相談窓口を設置します。

文化施設の有効活用を図ります

県内に整備されている多数のホールの有効活用を図るため、施設の特徴を活かした文化活動を支援し、創意工夫をこらした施設運営を推進します。

<例>

施設の特徴を活かした芸術家の育成支援

全国でも有数の優れた音響効果を誇るサラマンカホールを活用し、優れた若手音楽家の育成を図る民間活力による取り組みを支援します。

指定管理者制度の有効活用

県民ふれあい会館など指定管理者制度を導入した施設において、民間活力を活かし、多くの県民のみなさんが愛着を持っていただける施設となるよう、独自の創意工夫をこらした施設運

= 継承 =

日本有数の伝統文化を守り、育てます

日本有数の優れた伝統文化を守ります

質量ともに日本有数の規模を誇る地歌舞伎など地域の誇りとして各地に伝わる伝統文化を、すべての県民が「岐阜県の財産」として守るための取組みを進めます。

<例>

保存会等の活動支援

各地域に残る伝統芸能の保存会が後継者育成のために行う研修事業などに対して支援するとともに、伝統文化の保存・継承に尽力された個人や団体を顕彰し、その功績への評価を通して活動の活性化を図ります。

先人の業績の顕彰による誇りづくり

岐阜県ゆかりの先人の業績を展覧会・講演会等を通じて広く紹介し、先人の偉業についての理解を促進すると同時に、県民の誇りとしての意識の醸成を図ります。

デジタル・アーカイブ構築の推進

過疎化の進展などにより消滅しつつある伝統文化や修復が困難な文化財をはじめ、県内にある伝統芸能、伝統文化などを誇りある文化として後世に残すため、動画や画像で保存し、ふるさと学習の教材として活用できるようデータの整備を推進します。

誇りある伝統文化の担い手を育てます

少子化の進展により、担い手の減少が心配されており、多くの県民が伝統文化に誇りを持ち、新たな担い手として活躍できる取組みを進めます。

<例>

伝統文化の発表機会の提供

伝統文化を発表する機会を提供し、保存・伝承する人の自己研鑽につながる場づくりを行います。

「ふるさと教育」の積極的な推進

小中学校での総合学習の時間などを活用して、子どもたちが伝統文化について学ぶ機会を積極的に創出します。

学校・地域での伝統芸能体験活動の推進

伝統文化について理解を深め、後継者の育成を図るため、学校でのクラブ活動の時間や、公民館等の講座を通じて、地域の伝統文化を伝える世代と受け継ぐ世代とが共に活動する場を設けます。

= 創造 =

若さあふれる岐阜県文化を創ります

次代を担う人材育成を支援します

早期から優れた芸術に触れて学ぶ機会や、競い合い、自分を磨く機会を提供することにより、国内外で活躍することのできる人材の育成支援を進めます。

<例>

岐阜県内の新しい人材の育成

「円空大賞」、「日本モーツァルト音楽コンクール」、「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」、「ぎふ・ブラハ音楽院セミナー」、「小島信夫文学賞」などの実施により、県内の優れた人材が競い合って自分を磨く機会を提供し、国内外でさらに活躍するきっかけづくりを進めます。

優れた芸術に触れて学ぶ機会の積極的提供

「織部賞」については、県内の人材が触発されるとともに、県民が親しみやすいものにします。

県立文化施設において特色ある事業を実施するとともに、県内各地の文化施設などにおいても同様な機会を提供する取組みを推進します。

切磋琢磨による新しい岐阜県文化の創出を進めます

県内では、郷土に根ざした文化活動が行われる一方、創作音楽劇などの新たな文化創造の芽吹きがあります。こうした取組みがさらに広がるよう支援していきます。

<例>

コラボレーションによる新しい文化創造の積極的な支援

創作音楽劇など、伝統文化と新しい表現方法とのコラボレーション(協働作業)による新しい文化創造を積極的に支援します。

創作意欲を喚起する交流の場の積極的提供

様々な分野の文化の担い手が年齢や経験にとらわれず、自由に交流し、新しい文化創造のきっかけとなることを目的とした「文化交流サロン(仮称)」を設置します。